

株式会社 金羊社（東京都大田区）【印刷業】

商工会議所のイチョン

女性の活躍推進

LEADER

代表取締役社長 浅野 晋作 氏



重労働で、男性の職場というイメージの強い印刷業界。男女雇用機会均等法施行以降、前社長の改革の元、現在は約40%が女性社員。しかし、女性であることを理由に優先して登用することはなかった。女性自身も甘えることなく、社員がお互いに業務を補うことで組織の業務改善にもつながった。

男女問わず、チャンスはイーブン

■背景・きっかけ:

1986年、男女雇用機会均等法が施行されて以降、前社長による性別に関係ない人材登用が始まった。それまで女性の営業担当の前例がなかった印刷業界では、女性を採用した際、周りのお客様から「うちの担当にはしないでね。」と反応はよくなかった。しかし半年後、反応は一転。女性社員の評判は良かった。商品の購買権は女性が握る。その女性の声を商品開発に生かすことで会社の業績も向上した。

■取組内容・効果:

女性であることを理由に優先して登用することはなかった。加えて、女性自身もリーダーになることに対し戸惑いがあった。そのため、女性のリーダーを育成する必要があった。

その仕組みづくりとして、委員会（5S・おもてなし等）を5つ設けた。委員会のアドバイザーは部長・役員が務め、運営は、課長以下で行う。この活動は、実際の業務に直接影響を与えるものではないが、議事進行・マネジメントは社員の自信にもつながった。

リーダーの育成には、その上司の存在も鍵となる。現在取締役を務める立山恵子さんは「今の管理職たちが魅力ある（目標になる）管理職にならないと。それをどう見せるか。」と語る。それは、仕事だけではなくプライベートも充実した姿。先陣をきった女性管理職の姿は、産休・育休を取得する社員を社内全体で支える風土を形成していった。

産休・育休に対して、はじめは他の社員から不満も出た。しかし、業務を補うための行動が、結果として業務の効率化や改善になることが理解され、社内の意識が変わった。

■今後の展望と課題

えるぼし認定を取得準備中。女性活躍推進企業であると積極的にアピールするつもりはなかったが、CSRが認知されている今、やっていることは公表をした方が良かったと考えた。実際、多くの女性が活躍している企業であることがマスコミで取り上げられて以来、女性の就職希望者も増加した。

中小企業の実践

ポイント

- ▶ リーダー育成のカギは、魅力ある管理職の存在。
- ▶ 社内の支えあう風土は業務改善に貢献。



前社長（現代取締役会長）浅野 健氏 へ



→5Sが行き届いた社内

◆◆◆◆◆↓金羊社 商品◆◆◆◆◆



←AKB48CD
(提供:キングレコード株式会社)

絵本日本語訳版作成&販売へ
(提供:株式会社ワールドライブラリー)



←マンホールサイン(長野県)

【企業データ】

代表者	代表取締役社長 浅野 晋作	会社設立年	1926年	従業員数	282人 (男性203人、女性79人)
本社所在地	東京都大田区鶴の木2-8-4	ホームページ	http://www.kinyosha.co.jp/		
事業内容	印刷業(メディアパッケージ、建築・建材マテリアル、水性フレキソ印刷、デジタルプリント、企画・販売プロデュース、webデザイン)				